

一般会計

質問 防犯灯の球切れの対応が遅いのでは。

答弁 防犯灯は市で管理しており、連絡を受けた際にはできる限り職員を派遣して現場を確認するなど、速やかに対応しています。なお、街路灯は町内会での管理となります。

質問 臨時福祉給付金給付事業と子育て世帯臨時特例給付金給付事業の内容は。

答弁 どちらも消費税増税に伴う負担軽減を図るために給付するものです。臨時福祉給付金は低所得者を対象に一人一万円を、子育て世帯臨時給付金は児童手当受給者を対象に児童一人につき一万円を支給します。

質問 野生きのこサンプリング活動支援事業の今後の見通しは。

答弁 市内で採取したサンプルを県薬剤師会で分析し、その結果に基づいて規制解除に向けた要望を県から国に対して働きかけると伺っています。

質問 農村地域防災減災事業の内容は。

答弁 大雨の発生に備え、市内に点在しているため池などを調査する事業です。

がん検診の受診者ということで、概ね四十歳以上を想定しています。対象事業は検討中です。

質問 十和田産の農畜産物について、市外への宣伝だけでなく地元での消費にも力を入れるべきでは。

答弁 最近では十和田バラ焼きなどの影響で地産地消の機会も多くなっています。市外へのPRと並行して進めていかなければと思っています。

質問 十和田市消費生活センターの実績は。

答弁 平成二十四年度の相談件数は八十一件、平成二十五年年度は二月末時点で百六十六件です。相談内容で多いものは、もうけ話詐欺、インターネット等の架空請求、健康食品送りつけ詐欺などです。

質問 プロシエクシオンマッピングはどこで実施するのか。

答弁 具体的には決まっていますが、市役所市民交流プラザ、アート

ステーショントワダ、現代美術館などを想定しています。

質問 仮にB-1グラウンドの全国大会を開催するとしたら、対応は可能か。

答弁 昨年開催した北海道・東北B-1グラウンドでは市内外から約十八万人が訪れましたが、全国大会となると宿泊場所、駐車場、出店スペースも不足しているため、十和田市だけですべてをまかなうのは難しいと考えます。

質問 鉄道跡地を利用した県道三沢十和田線拡幅の見通しは。

答弁 整備についての具体的な計画はまだ示せませんが、県では県道の拡幅と遊歩道の整備を一体的に検討すること、市も加わって円滑に進めていきたいと考えています。

質問 特別枠事業の日本一を目指した特色ある教育活動について、各学校でテーマや取り組む課題

などは決まっているのか。

特別会計

質問 国民健康保険事業)

質問 特定健康診査の受診率の現状は。

答弁 平成二十四年度は受診率六十五%を目標としていましたが、実績は約三十二%という状況です。受診率が低い要因としては、すでに病院にかかっているから関係ないかと思われている方や、年齢的にまだ必要ないと考えている方が多いことが原因と考えています。

質問 市独自の介護予防事業の内容は。

答弁 介護支援相談員を派遣して介護予防などの相談を受ける「はつらつシニア応援事業」、市内事業所の柔道整復師に委託している「運動機能向上事業」、そして「湯っこで生き生き交流事業」などがあります。

質問 徘徊高齢者家族支援事業の内容は。

答弁 認知症により徘徊する方にGPS端末を持たせることで、徘徊した際に探しやすいように、現在一名が利用しています。

企業会計

質問 下水道事業)

質問 民間のメガソーラー建設に係る下水処理場隣接地の遊休資産について、年間十二万円の賃料は安すぎるのでは。

答弁 土地の評価額をもとに、条例などに照らし合わせて算定した額です。

質問 診断書をすぐに

出せないか。
答弁 現在はシステム化を図っており、以前よりは改善されています。

質問 医師確保の見通しについて。

答弁 医師数は少しずつ増え始めており、四月から消化器内科に二名派遣される予定です。

予算審査特別委員会 質疑応答